

目 次

第1章 はじめに.....	1
1.生物多様性とは.....	1
(1) 「生物多様性」とは.....	1
(2) 3つのレベルの「生物多様性」 ~生物多様性を3つのレベルでとらえます~	2
2.「生態系サービス」とは ~私たちの暮らしは多くの生きものとのつながりから恩恵を受け、支えられています~	5
(1) 4つの「生態系サービス」	5
(2) 私たちの暮らしを支える「生態系サービス」	6
(3) 産業経済活動を支える「生態系サービス」	7
3.生物多様性に関する4つの危機 ~今、「生物多様性」が危ない~	9
4.経済界にも波及しはじめた生物多様性の考え方	11
(1) SDGs (持続可能な開発目標)	11
(2) ESG (イーエスジー) 投資	12
(3) ISO14001.....	13
5.生物多様性の危機回避に関する国内外の動き	14
(1) 国内外の動き.....	14
(2) 愛知目標	15
(3) 国内における「生物多様性地域戦略」の策定状況.....	16
(4) 「かながわ生物多様性計画」の概要	16
第2章 藤沢市におけるこれまでの生物多様性保全の取組	17
1.「藤沢市ビオトープネットワーク基本計画」の策定	18
2.「藤沢市自然環境実態調査」の実施	20
3.藤沢市における「生物多様性の4つの影響」	21
4.「生物多様性のもう一つの影響」~第0の影響~	21
5.「藤沢市生物多様性地域戦略」策定のねらい	22
6.「藤沢市生物多様性地域戦略」の考え方と柱	23
(1) 「藤沢市生物多様性地域戦略」の考え方	23
(2) 「藤沢市生物多様性地域戦略」の柱	23
7.「藤沢市生物多様性地域戦略」の位置づけ	25
8.「藤沢市生物多様性地域戦略」の対象地域	26
9.「藤沢市生物多様性地域戦略」の計画期間	27
第3章 藤沢市の生物多様性の状況	29
1.藤沢市の自然的風土の特色	30
(1) 北の台地と南の低地、2つの河川と海岸、そして江の島	30
(2) 藤沢市の気候.....	31
2.藤沢市が今日の姿に至った経緯	32
(1) 高度経済成長期までの風土に合わせた人々の生活.....	32
(2) 高度経済成長期以降のまちの発展と暮らしの変貌.....	35

(3) 拡大する自然への負荷と生物多様性の喪失	36
3. 藤沢市の現在の状況と今後の課題	38
(1) 藤沢市民と生物多様性との関わり	38
(2) 事業活動と生物多様性との関わり	39
(3) 土地の特性と災害発生の関係	48
(4) 子どもたちと地域の自然	49
(5) 2度の藤沢市自然環境実態調査結果からみる自然	51
(6) これから取り組むべき課題	61
第4章 基本方針	63
1. 将来像（目標）	63
2. 基本方針	64
第5章 施策	65
1. 施策体系	65
(1) 基本方針と施策の方向性	65
(2) 施策	68
(3) 主な取組（事業）	68
(4) 重点プログラム	68
2. 施策の展開	73
3. 重点プログラム	86
(1) 普及啓発と協働の推進にあたっての取組の方向性	86
(2) (仮称)藤沢市生物多様性センター機能の目的	87
(3) (仮称)藤沢市生物多様性センター機能の役割	87
第6章 体制、進行管理	89
1. 体制	89
2. 進行管理	89
資料編	
1. 生物多様性条約	資料 1
2. 生物多様性基本法	資料 4
3. 生物多様性国家戦略 2012-2020（愛知目標）	資料 11
4. 地域における多様な主体の連携による生物の多様性の保全のための活動の促進等に関する法律 （生物多様性地域連携促進法）	資料 13
5. 第2回藤沢市自然環境実態調査結果（概要）	資料 18
6. 市民ヒアリング（聞き取り調査結果）	資料 20
7. 市民参加のグループワーク	資料 24
8. 藤沢市ビオトープネットワーク基本計画から統合する施策内容	資料 25
9. 委員名簿	資料 33
10. 戦略策定までの経緯	資料 35
用語解説	資料 36

【情報コーナー】

① 藤沢市ビオトープネットワーク基本計画に基づく取組.....	19
② 知られざる「江の島」の価値	41
③ 市民を対象としたヒアリング（聞き取り調査）の実施.....	46
④ 市民参加のグループワークの実施	47
⑤ 生態系が有する機能の活用と防災・減災 ~グリーンインフラ、Eco-DRR~	50
⑥ 第2回藤沢市自然環境実態調査	52
⑦ 河川と海のつながり	54
⑧ 制度によって緑地を守る ~地域制緑地の状況~	58
⑨ 市民自治の風土の継承 ~市民活動団体によるさまざまな活動~	62

※文中で「*」が付記された用語については、巻末の「用語解説」で説明をしています。